小学校中学年向き（40点）

No.	請求記号	書名	著者	出版社	頁数	内容
1	E　い	ちいさいおうち	バージニア・リー・バートン／ぶん・え いしい　ももこ／やく	岩波書店	40	静かないなかの丘のうえに、きれいなちいさいおうちがたっていました。美しい自然とゆったりした人々にかこまれて、ちいさいおうちは幸せでした。けれど丘をきりくずし道路ができ、建物がたち並び始めて……。
2	E　い	花さき山	斎藤　隆介／作 滝平　二郎／絵	岩崎書店	33	奥深い山の中、一面に、きれいな花が咲いている。この花は、人間がやさしいことをすると一つ咲く。人のことを思い、しんぼうすると、又一つ咲く。山姥が道に迷ったあやに聞かせてくれた話だそうな。
3	E　か	からすたろう	やしま　たろう／文・絵	偕成社	35	先生を恐れ同級生からも相手にされない少年ちび。ところが、6年生になりいそべ先生がきてからは……。学芸会でみごとなカラスの鳴きまねで、みんなは初めてちびの持つすばらしさに気づくのだった。
4	E　き	ぼくがラーメンたべてるとき	長谷川　義史／作・絵	教育画劇	32	ぼくがラーメンたべてる時、隣の国の子は自転車をこいだ。その隣の国の子は赤ちゃんをおんぶし、そのまた隣の国では・・・・・・。同じ瞬間の子どもたちの姿を切り取り、リズムある文で繋いでいく。様々な状況の中で懸命に生きる子どもたちの姿に、希望を感じる絵本。
5	E　こ	100万回生きたねこ	佐野　洋子／作・絵	講談社	31	100万年も死なないねこがいました。100万回も死んで、100万回も生きたのです。自分だけが大好きなねこ。ある時、ねこは、白い、美しいねこと出会います。初めて自分以外の者を好きになるねこ。やがて……。
6	E　こ	ひろしまのピカ	丸木　俊／え・文	小峰書店	45	朝ごはんを食べている時、被爆したみいちゃん一家。お母さんは傷ついたお父さんを背負い、みいちゃんをつれて逃げます。その途中で見た地獄絵……。「ピカは、人が落とさにゃ、落ちてこん」の言葉が胸に迫ります。
7	E　と	たくさんのお月さま	ジェームズ・サーバー／文 ルイス・スロボドキン／絵 なかがわ　ちひろ／訳	徳間書店	48	病気になった姫の願いをかなえるため、王さまは、家来たちに月をとってくるよう命令しました。ところが、誰もとってくることができません。最後に道化師がよばれて……。淡い色彩で描かれたユーモアあふれる絵本。
8	E　ひ	せかいのひとびと	ピーター・スピアー／えとぶん	評論社	41	地球上にいる70億もの人々。肌の色、髪の色、言葉、食べる物もそれぞれ。自分と違うだけで、よその人々を嫌っていないかい？細かく描き込まれた絵が、世界中の人々の姿や風土を生き生きと伝え、みんなが違っているから、すてきなんだと訴える絵本。
9	E　ひ	わすれられないおくりもの	スーザン・バーレイ／さく・え 小川　仁央／やく	評論社	24	ある日、年老いた1匹のアナグマが亡くなりました。アナグマを慕っていた森のみんなの悲しみは、季節が過ぎても消えません。でも、アナグマはみんなの心にすばらしいおくりものを残してくれていたのです。それは―――。
10	E　ふ	スーホの白い馬	大塚　勇三／再話 赤羽　末吉／画	福音館書店	47	スーホが育てた白い馬は競馬で一等になるが、それを見ていた殿様に、馬をとりあげられてしまう。ある日、馬は矢を体中に射られながらスーホのもとに帰ってくるが……。モンゴルに伝わる民話を絵本にしたもの。
11	E　ふ	八郎	斎藤　隆介／作 滝平　二郎／画	福音館書店	31	山男の八郎は、山のように大きな男だった。ある日八郎は、海に田がのみこまれると泣いている子どもにあった。やさしい心をもつ八郎は、大きな手を広げて、海を押しもどそうと、海の中へはいっていった。
12	E　り	しまふくろうのみずうみ	手島　圭三郎／絵・文	リブリオ出版	40	北海道の山奥にだれも知らない湖がありました。山に三日月がかかるころ、しまふくろうの親子が魚をとりにきました……。しまふくろうの生態と雄大な自然の姿を美しい版画で描いた絵本。
13	440　な	ぼくらの地図旅行	那須　正幹／ぶん 西村　繁男／え	福音館書店	56	小5のタモちゃんとシンちゃんは、1枚の地図だけをたよりに野浜の岬まで徒歩旅行に出かけることになった。8キロの道のりを、地図だけでたどりつけるか……。地図への興味をかきたてる冒険・科学絵本。

No.	請求記号	書名	著者	出版社	頁数	内容
14	911　ま	てんぷらぴりぴり	まど　みちお／著	大日本図書	60	「ぞうさん」「やぎさん　ゆうびん」などの童謡でおなじみの作者が、子どものために書いた詩29編を収めたもの。ユーモアにあふれたものや知性豊かなもの、ほのぼのとした暖かいものなど、正に詩の宝庫ともいえる。
15	913　あ	車のいろは空のいろ	あまん　きみこ／作 北田　卓史／絵	ポプラ社	125	松井さんのタクシーのタイヤがパンクして、困っているのを見て、二人の小さな男の子が助けてくれました。お礼に二人を車に乗せたあと、客せきにはキツネの毛が……。空色のタクシーの運転手松井さんをめぐるお話8編。
16	913　い	ながいながいペンギンの話	いぬい　とみこ／作 山田　三郎／絵	理論社	185	ペンギンのぼうやルルは、冒険好き。両親のいない間に一人ででかけて、大カモメに襲われたり、人間にさらわれたり。こんなルルと泣き虫でやさしい弟のキキの成長の姿を描いた物語。
17	913　い	ノンちゃん雲に乗る	石井　桃子／著	福音館書店	278	おかあさんに約束を守ってもらえず、家をとびだしたノンちゃんは、氷川様の池にはり出した木からおちる。気がつくとそこは空。落下しそうなノンちゃんは、雲の船に乗ったふしぎなおじいさんに救われて……。
18	913　い	ゆみ子とつばめのおはか	今西　祐行／さく 遠藤　てるよ／え	偕成社	77	昭和20年8月6日。原爆がおとされ、生地獄となった広島の町を、ゆみ子はとべなくなったつばめを胸にだいて、家族を探します。黒い雨の降る中で、小学生のゆみ子が見た、ヒロシマは……。
19	913　お	チョコレート戦争	大石　真／作 北田　卓史／絵	理論社	150	お菓子屋の店先でチョコレートを見ていた少年たちの前で、突然、店のショーウィンドーがこわされた。店の主人は少年を犯人扱いする。疑いをはらそうとする少年たちと、商売しか頭にない店主との戦いがはじまる。
20	913　こ	キャプテンはつらいぜ	後藤　竜二／作 杉浦　範茂／絵	講談社	188	少年野球チーム、ブラック＝キャットのキャプテンがやめてしまった。おまけに6年生二人と、ピッチャーまでやめてしまった。新しいキャプテンになった勇はこのチームをまとめていくことができるのだろうか。
21	913　さ	だれも知らない小さな国	佐藤　さとる／著 村上　勉／絵	講談社	222	小学校3年の時、「ぼく」は山の中の三角平地で小人族コロボックルをみつける。月日は流れ、青年になったぼくは三角平地を買いとり、ついにコロボックルと友だちになる。ところがこの土地に道路建設の話が……。
22	913　さ	ルドルフとイッパイアッテナ	斉藤　洋／作 杉浦　範茂／絵	講談社	273	トラックに乗って東京まで来てしまった黒ねこのルドルフは、トラねこのイッパイアッテナと出会った。教養のあるイッパイアッテナは、ルドルフにいろいろなことを教えてくれて……。個性豊かなねこたちの、心あたたまる友情の物語。
23	913　と	やまんば山のモッコたち	富安　陽子／作 降矢　奈々／画	福音館書店	285	冬のある日、山姥山へ入った啓太は、山姥の娘まゆと友だちになる。二人は雪女から寒立馬を守るために、寒立馬がくるという隠れ谷に向かい……。山に住むふしぎな生き物たちの愉快な8つの物語。
24	913　ま	まえがみ太郎	松谷　みよ子／作 丸木　俊／絵	偕成社	174	まえがみ太郎は、子どものないじいさまとばあさまが、お正月さんから授かった子ども。その太郎が、どうどの山にいると伝えられるまものを退治しに行きます。和歌山県という土地柄をイメージした創作民話。
25	913　れ	パンプキン！	令丈　ヒロ子／作 宮尾　和孝／絵	講談社	95	ヒロカは、模擬原爆について調べるために大阪に来たいとこのたくみと関わるうちに、パンプキンと呼ばれた模擬爆弾に興味を持つようになる。夏休みの自由研究のテーマをパンプキンに決めたヒロカは、たくみの力を借りながら原爆や戦争について考え始める。
26	933　あ	チム・ラビットのぼうけん	アリソン・アトリー／著 石井　桃子／訳 :中川　宗弥　画	童心社	190	小さいうさぎのチム・ラビットは、やさしいおかあさんといっしょにくらしています。豊な自然の中で、たいせつにしなければならないもの、恐れなければならないものなどを学んでいきます。チムのかわいいお話9編。
27	933　う	いたずらブリンキー	ドロシー・ウォール／ぶん・え 井出　弘子／やく	童心社	158	森にすむコアラの男の子ブリンキーは、とってもわんぱく。知らない世界をみたくて、こっそりと家をぬけだしてはいたずらばかり。そして、とうとう、きしゅく学校へやられることになりました。

No.	請求記号	書名	著者	出版社	頁数	内容
28	933　え	しずくの首飾り	ジョーン・エイキン／作 ヤン・ピアンコフスキー／絵 猪熊　葉子／訳	岩波書店	150	あらしの夜、ヒイラギの木の枝にはさまっていた“北風”を助けたジョーンズさん。“北風”はお礼にジョーンズさんの娘の名付け親になり、ふしぎな<しずくの首飾り>を贈るが……。表題作をはじめ、8つのファンタジーを収めた短編集。
29	933　え	百まいのドレス	エレナー・エスティス／作 石井　桃子／訳 ルイス・スロボドキン／絵	岩波書店	92	ワンダが着ている服は、いつも青い服1枚だけ。ところが、家には100枚のドレスがあると言い、みんなにばかにされます。貧乏や人種による差別をテーマに、少女たちの心の揺れを丁寧に描いた作品。
30	933　え	魔女のたまご	マデライン・エドモンドソン／作 ケイ・コラオ／絵 掛川　恭子／訳	あかね書房	47	アガサは魔女です。それもすごく年をとっていて、へそまがりのおばあさん魔女。ワシの古巣にひとりで住み、毎晩、人間をこわがらせに行きます。友だちはいません。ところがある日、アガサの家に一つのたまごが！？
31	933　く	がんばれヘンリーくん	ベバリイ・クリアリー／作 松岡　享子／訳 ルイス・ダーリング／絵	学研教育出版	227	ヘンリーくんは、どこにでもいるような普通の男の子。ある日、町角で犬を拾ってから、ゆかいな事が次々とおき、みんなをハラハラ・ドキドキさせます。現代っ子の生活をいきいきと描いた楽しく愉快な物語。
32	933　ほ	くまのパディントン	マイケル・ボンド／作 松岡　享子／訳 ペギー・フォートナム／画	福音館書店	209	南米ペルーから、ロンドンにやってきたくまのパディントン。ブラウン夫妻の家で一緒に住むことになりますが、毎日が大騒ぎ。好奇心旺盛で、人気者のパディントンを存分に楽しめる本。
33	933　み	クマのプーさん　プー横丁にたった家	アラン・アレクサンダー・ミルン／〔著〕 石井　桃子／訳	岩波書店	400	男の子クリストファー・ロビンと、ぬいぐるみのクマのプーさんを中心に、こぶたやカンガルーたちが繰り広げるファンタジー。どの動物たちも個性的で、愛きょうがあり、今なお世界中で愛されている本。
34	943　ふ	大どろぼうホッツェンプロッツ	オトフリート・プロイスラー／〔著〕 中村　浩三／訳	偕成社	184	ある日、少年カスパールのおばあさんのうちに、どろぼうがはいりました。どろぼうの名はホッツェンプロッツ。カスパールは、なかよしのゼッペルといっしょに、この大どろぼうをつかまえようとしますが……。
35	943　ろ	のどか森の動物会議	B. ロルンゼン／著 山口　四郎／訳 K・グロース／画	あかね書房	157	カラスのヤコブズが、のどか森の動物たちにとんでもないニュースを持ちこみました。かわず村の男たちが、金もうけのために森の木を1万本も切り出すというのです。さあ、たいへん！動物たちは知恵をしぼって……。
36	949　ふ	小さなスプーンおばさん	アルフ・プリョイセン／著 大塚　勇三／訳	学習研究社	166	ある朝、おばさんが目をさましてみると、身体がスプーンくらいに小さくなっていました。けれどおばさんは少しもあわてず、ネズミ、ネコ、イヌを使って仕事をかたずけていきます。ゆかいなスプーンおばさんのお話12話。
37	949　り	長くつ下のピッピ	リンドグレーン／作 大塚　勇三／訳	岩波書店	262	ごたごた荘という古い家にピッピ・ナガクツシタという女の子が一人でくらしていました。ピッピは、馬一頭まるごと持ち上げられるほどの力持ち。ピッピのいくところかならずゆかいな事件がおきるのです。ほら、今日も……。
38	949　り	やかまし村の子どもたち	リンドグレーン／作 大塚　勇三／訳	岩波書店	196	やかまし村は、とても小さな村で家はたったの3軒だけ。子どもも6人しかいません。その子どもたちが大自然の中でのびのびと育っていく様子が、やさしく、明るく、生き生きと描かれている。
39	953　と	みどりのゆび	モーリス・ドリュオン／作 安東　次男／訳	岩波書店	215	チトは、さわるだけで花を咲かすことのできる、ふしぎな“みどりのゆび”をもった男の子。みじめなもの、悲しいものに出会うたびに、花を咲かせて歩きました。でも、父親が兵器工場を経営しているのを知ったとき……。
40	953　ふ	かわせみのマルタン	リダ／ぶん いしい　ももこ・おおむら　ゆりこ／やく ロジャンコフスキー／え	福音館書店	80	ある春の朝、一羽のかわせみが、わたしの美しい動物たちの王国にはいりこんだ。わたしは、青い宝石のようなかわせみに、マルタンと名づけて観察をはじめた。わたしが見守ったマルタンの一生の物語。